

# 白神山地世界自然遺産登録 20周年記念式典

12月11日、白神山地世界遺産センター「藤里館」において白神山地世界自然遺産登録20周年記念式典が開催され、遺産センター活動協議会や秋田白神ガイド協会、町ツーリズム協議会などの関係者約80名が出席しました。

はじめに、佐々木町長が「白神山地世界自然遺産登録20周年を迎えるにあたり、関係者皆様のこれまでのご尽力には、ただただ感謝するばかりです。今日を機に、地元にある世界自然遺産の存在価値を再認識し、また自然の素晴らしさを後世に伝え、将来に向かってさらに充実した取り組みをしてまいりたい。」とあいさつしました。



続いて、世界遺産センター活動協議会を代表して徳丸環境省東北地方環境事務所長があいさつを述べた後、白神山地の自然保護にご尽力された功績を称えて、鎌田孝一さん（荒町）、市

川善吉さん（愛宕第二）の2名に記念品が贈られました。



自然保護にご尽力されました

その後、藤里幼稚園のうめ組29名が「白神山地から流れる水を飲み、白神の森がきれいにした空気を吸い、森の恵みを食べ、数え切れないくらい恵みに支えられています。大人になってもずっと、白神山地が今のままの姿であり続けるよう、白神山地の自然を大切に守っていきま



元気に宣言

式典後のイベントでは、藤里自然保護官事務所の瀬川涼自然保護官による「世界自然遺産白神山地を語る」と題した記念講演が行われ、人と自然の関わりについて考えていきたいと述べられておりました。



瀬川さんによる記念講演

また、藤里町図書室職員の安部さやかさんが幼稚園児に向けて「白神に棲む動物たちのお話」絵本の読み語りや手遊びなどをし、園児たちは安部さんの読み語りに聞き入っていました。



真剣な表情です

## 表彰者プロフィール

### ◎鎌田孝一さん

（荒町・83歳）

1930年岩手県稗貫郡大迫町に生まれる。古河鉱業太良鉱業所勤務を経て、1960年秋田県藤里町で「カマタ写真店」を開く。1958年、白神山地のブナ原生林を守る会を結成して理事長を務める。1973年、秋田自然を守る友の会会長。青秋林道の建設反対運動や原生林の保護に取り組み。1986年吉川英治文化賞受賞。

### ◎市川善吉さん

（愛宕第二・82歳）

1931年秋田県山本郡藤里村（現在の藤里町）に生まれる。1945年〜1999年まで営林署勤務。幼少の頃から父親に連れられて、白神の山々を歩き続けた経験を生かして、現在白神山地の山の案内人として多くの人々に自然の素晴らしさ大切さを伝え続けている。またブナの恵みに育てられた経験から、青秋林道問題ではブナ林保護に尽力した。秋田県自然保護指導員及び自然観察指導員。白神山地連絡協議会巡視員。秋田自然を守る友の会会員。